一般社団法人
レストランテック協会

協会概要

繋がりを源泉とした「テクノロジーの力」で、飲食業界を幸せにする。

デジタルとAIで飲食業界を動かす、レストランテック企業の業界団体です。飲食店、テクノロジー企業、業界団体、行政をつなぎ、業界のデジタル化を進めています。

2026年10月



ミッションとビジョン

ミッション

繋がりを源泉とした「テクノロジーの力」で飲食業界を幸せにする

ビジョン

日本最大のレストランテックコミュニティを形成する

繋がる

テック企業どうし、そして飲食店の経営者と、顔を合わせる場をつくります。

共創

市場で競い合う会社どうしが、業界の課題には力を合わせます。

拡げる

業界の声と実態を、調査や行政の委員会を通じて外へ届けます。

人手不足が、価値の上限になる産業

外食は、最後の調理と提供だけが人の手で価値を足す産業です。人が足りない分だけ、価値が積み上がりません。日本の生産性は、主要先進7カ国でいちばん低い水準が続いています。

非正社員が「足りない」飲食店

57.7%

業種別で最も高い比率

同じ質問の、全業種の平均

28.8%

飲食店は、この2倍

時間当たり労働生産性

28位／38カ国

60.1ドル。購買力平価換算

一人当たり労働生産性

29位／38カ国

主要先進7カ国で最も低い

出典：帝国データバンク「人手不足に対する企業の動向調査」（2026年7月調査）／日本生産性本部「労働生産性の国際比較2025」（2024年・OECDデータ）

デジタル化の目的は、
人を減らすことではありません。

機械にできることを機械に渡し、人にしかできないことに時間を返す。いる人が、いちばん価値の出る仕事に立てるようにすることが、デジタル化の目的です。

機械に渡すこと

レジ締め、シフトの調整、在庫の確認、予約台帳の転記、売上の集計。必要ですが、お客様の記憶には残りません。

人に返す時間

空間づくり、接客、調理の技術。日本の外食が世界で評価されてきた理由は、人の手と時間からしか生まれません。

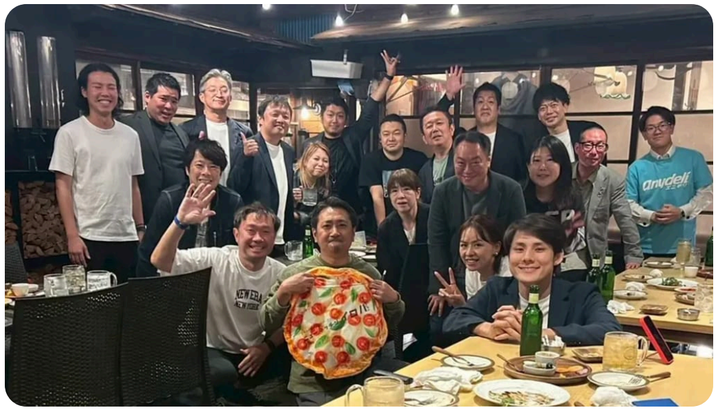
立場ごとの、協会の役割



飲食店の方へ

選ぶ材料を、無料で

サービスの一覧「レストランテック図鑑」と、お店のDX地図づくりがあります。60分の聞き取りで店のIT環境を1枚の地図にし、その後の相談もLINEで無料です。



テック企業の方へ

競い合いながら、ともに

POS、予約、勤怠、会計など、競合になりうる会社どうしが、困りごとと知恵を持ち寄ります。賛助会員は53社です。



業界の外へ

業界の声を、外へ

「飲食DX指標調査」を公表し、農林水産省の省力化検討委員会に協会として委員参画しています。米国のRTNとも協業しています。

事業は、6つの段階でつながっています

知る

飲食業界の文化と課題、経営の基礎を学びます

これマネ教育DX・ビジネススキルセミナー

つながる

飲食店・顧問・他の会員企業と、1社では解けない課題に取り組みます

飲食革命・顧問マッチング

届ける

店に合うツールを選び、導入まで支えます

デジタルデザインマップ（DDM）・Lightning Show Case

成果にする

入れて終わりにせず、使われ続けるまで支えます

Success Pitch

広める

うまくいった事例とやり方を、業界の内と外へ広げます

Lightning Shower Pitch・FOOD DEPLOY

活かす

集まった現場の成果とデータを、業界への提言と製品づくりに返します

調査・レポート

10の事業

段階	事業	おもな対象	中身
知る	**これマネ教育DX**	会員企業・飲食店	経営と現場を学べる動画800本の教材
知る	**ビジネススキルセミナー**	会員企業・飲食店	月1回のオンライン講座。いまは「生成AI塾」全6回
つながる	**飲食革命**	会員企業・理事・顧問	第一線のゲストを、ゲストの店で囲んで語らう会
つながる	**顧問マッチング**	会員企業	飲食業界に通じた実務家を、課題に応じてご紹介
届ける	**お店のDX地図づくり**	飲食店	60分で、店のIT環境を1枚の地図にする無料の相談
届ける	**Lightning Show Case**	飲食店・会員企業	課題のテーマごとに、解決策をまとめて紹介
成果にする	**Success Pitch**	会員企業	導入したあと、どう成果を出したかで競うピッチ
広める	**Lightning Shower Pitch**	会員企業・飲食メーカー	飲食店を回るメーカーの営業担当に、まとめて届ける
広める	**協会メディア FOOD DEPLOY**	飲食店・業界関係者	「今使えるテクノロジー」を、取材にもとづいて発信
活かす	**調査・レポート**	業界全体	飲食DX指標調査など、現場の実態を業界へ返す

飲食店の方へ、無料でお渡ししているもの



お店のDX地図づくり　実施 110社

60分の聞き取りで、業務とツールの今を見える化します

重なったツールと、手作業のまま残った業務を見つけます

事業計画を踏まえた「ミライのマップ」もお出しします

地図・コメント・統計資料をお渡しし、その後の相談もLINEで無料です

レストランテック図鑑

飲食店向けのサービスを、分野ごとに一覧にしています。

生成AI塾｜全6回の講座

協会のLINE公式アカウントのフォローで、飲食店の方も無料です。

マジ視察リスト・プロンプト集220選

協会のLINE公式アカウントで、限定で無料配布しています。

全東信の破産への対応フローチャート

2026年7月、加盟店がまず何をすればよいかを1枚にまとめ、無料で公開しました。

マジ視察リスト

現役の飲食店経営者が「本気で勧める」店を集めたリストです。視察にも、食事にも使えます。Googleマップのマイマップにして、協会のLINE公式アカウントから無料でお届けしています。

掲載している店
646店

推薦する経営者
8名

国内
40都道府県

海外
15店

推薦する経営者　毎月、1人5店ずつ足しています（最新の追加は2026年7月）



大坪 友樹
株式会社LAUGH GROUP



狩野 高光
株式会社和音人



須藤 剛
株式会社スマイルリンクル



山崎 聡
株式会社Elevation



高橋 英樹
Will Stage株式会社



青木 秀一
株式会社イタリアンイノベーションクッチーナ



深見 浩一
株式会社プランズ



杉村 明紀
株式会社ダブルアールプランニング

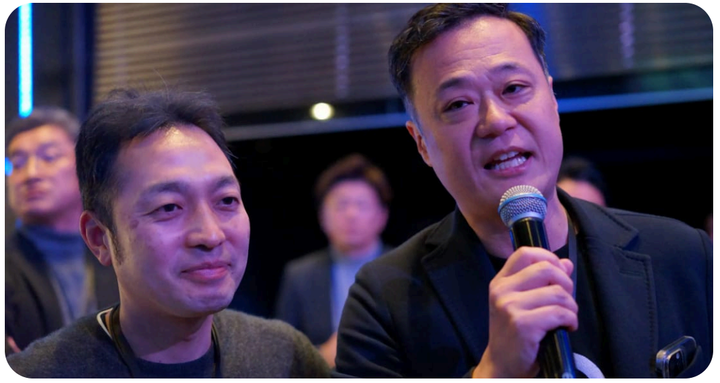
一緒に取り組んでいること

どれも、これまでに実際に開いたものです。



飲食革命

第一線のゲストを囲み、飲食店の経営者とテック企業が同じテーブルで語る懇親会。原則ゲストの店で、東京で年10回、大阪で年4回。



課題をジャックせよ!!

経営者が自社の課題をライブ配信で出し、会員企業がその場で解決策を提案する逆ピッチ。2026年6月に始め、2か月で4回。



年次総会

会員企業と飲食店、業界団体が一堂に集まる日。2025年3月に渋谷で初めて開き、2026年2月は銀座で開きました。

オンラインイベントの実績

協会が開いたオンラインイベント2回の実績を、1回あたりに直した数字です。

参加	ライブで視聴	資料請求	満足・非常に満足
428人	191人	151件	79%



数字で見る協会

2018年、4人で始めた勉強会「RT Meetup」から。2020年の法人登記のときは会員10社でした。

賛助会員

53社

毎年必ず開くイベント

20本

お店のDX地図づくりの実施

110社

協会メディア FOOD DEPLOY の到達

21,000

メルマガの配信数

15,000通

顧問・アンバサダー

26名

業界へ届ける、発信の場

協会メディア FOOD DEPLOY の到達

21,000

メルマガの配信数

15,000通

LINE公式アカウント

約900人

業界誌の連載	近代食堂（2026年3月〜）『良い「ツール」、悪い契約を見極める「眼」を養う「デジタル上手」の店になる6つの方法』、（2026年8月〜）『レストランテックの番人、山澤修平の これ、使ってみてください。』
調査	第1回「飲食DX指標調査」（2022年11月）。飲食店のDXの評価は10段階で2、DXに関心のない店が3割を超えました。
行政	2025年8月、農林水産省「外食産業課題対応緊急対策委託事業」の省力化検討委員会に、協会として委員参画。
メディア連携	フードスタジアム、FOOD UPDATE と、メディアによる飲食DXの推進で連携（2021年）。

協会の5つの特長

競合どうしが同じ会員	POS、予約、勤怠、会計など、飲食店に技術を提供する会社が参加しています。競合になりうる会社どうしが、困りごとと知恵を持ち寄っています。
飲食店に合わせた導入支援	DDMでは、飲食店の困りごとに合う会員企業を何社か並べて紹介します。協会は販売手数料を受け取っていません。
上場企業からシード期まで	上場企業も、創業まもないスタートアップも、同じ会員として参加しています。
企画を速く立ち上げる	飲食店の経営者が困りごとを出し、会員企業がその場で提案する「逆ピッチ」は、2か月で4回開きました。
業界団体・行政・海外との連携	日本飲食団体連合会に所属団体として参加。農林水産省の省力化検討委員会に委員参画し、米国のRestaurant Technology Network（RTN）と協業基本合意を結んでいます。

53社が参加しています

市場では競い合う会社どうしが、業界の課題には手を組みます。上場企業も、創業まもない会社も、同じ会員です。



連携する業界団体

展示会連携	外食ソリューションEXPO・FOOD STYLE JAPAN・ホスピタリティテックEXPO
メディア連携	外食産業新聞社・フードスタジアム・近代食堂
行政	農林水産省「外食産業課題対応緊急対策委託事業」省力化検討委員会に、協会として委員参画

沿革

4人で始めた勉強会から、賛助会員53社の業界団体へ。

2018

4人で、テック企業をつなぐ飲食経営の勉強会「RT Meetup」を立ち上げ

2019

協会を設立。レストランテック企業26社が登壇するオンラインピッチを開催

2020

法人登記。会員10社からスタート

2021

米国 RTN と協業基本合意。「これマネ教育DX」を会員に無償提供。外食データ部会を設立

2022

顧問・アンバサダー体制へ。第1回「飲食DX指標調査」を公表

2023

飲食・国際化・人材の各分野から顧問4名が就任。「RTSS Pitch」を開催

2024

「飲食革命」「お店のDX地図づくり」「Lightning Shower Pitch」を開始

2025

初の年次総会（渋谷）。農林水産省の委員会に参画。ピッチ決勝を東京ビッグサイトで

2026

年次総会（銀座）。近代食堂で連載。「課題をジャックせよ!!」を開始

いま

賛助会員
53社

理事と相談役



代表理事

山澤 修平

株式会社RT 代表取締役

日本飲食団体連合会 執行理事／居酒屋甲子園 専務理事



専務理事

高橋 秀志

株式会社HJP Corporation 代表取締役

飲食店の出店・設備入替・退店のファイナンスを支援



専務理事

伊谷 悠衣

株式会社イノベント マーケティングリーダー

外食ビジネスウィークなど、年50〜100本のセミナーを企画



専務理事

大山 正

株式会社ミライーツ 代表取締役

元フードスタジアム代表。中食・デリバリーで生産性向上を提案



相談役

高橋 英樹

Will Stage株式会社 代表取締役

日本飲食団体連合会 専務理事。居酒屋甲子園を設立

顧問とアンバサダー

顧問 19名　飲食店の経営者や業界の経験者が、専門の分野から協会の事業に助言しています


網本 信幸


荒井 静雄


今井 了介


大坪 友樹


狩野 高光


窪田 知香


酒井 慎平


杉村 明紀


鈴木 奨平


須藤 剛


竹田 クニ


谷口 泰崇


遠山 啓之


成内 健


深見 浩一


目野 健一


山川 博史


山崎 聡


山下 翔一

アンバサダー 7名　会員企業の現場の方々が、協会の活動を広めています


鳥山 佳峰


石塚 賢吾


藤野 大一朗


中原 剛志


阿部 朋子


染谷 朋江


野田 淳

法人情報

法人名	一般社団法人レストランテック協会
英語名	Restaurant Technology Association
所在地	〒104-0061 東京都中央区銀座1-12-4 N&E BLD. 7階
設立	2019年6月
法人登記	2020年10月1日
法人番号	2010005032382

代表理事	山澤 修平
体制	理事4名・相談役1名・顧問19名・アンバサダー7名・事務局2名
賛助会員	53社
所属団体	一般社団法人日本飲食団体連合会
海外の連携先	Restaurant Technology Network（米国）
お問い合わせ	info@rtmeetup.net



ご相談・お問い合わせ

飲食店の方も、テクノロジー企業の方も、行政やメディアの方も、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ →　　入会のご案内を見る →

お問い合わせ　**info@rtmeetup.net**　　Webサイト　**rtmeetup.net**　　LINE公式アカウント　**@994sbrpf**